

1 事業名等(Plan 1)

事業名	家畜防疫衛生事業							
所属名	農政部 畜産課 畜産振興グループ							
第七次総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	分野	4	畜産業		
予算科目	5	2	2	畜産振興	費	52220	家畜防疫衛生	事業
					費	52250	新飛騨食肉センター運営整備事業(頭部焼却補助のみ)	事業
					費			事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市畜産振興事業補助金交付規則							
事業の実施主体	○ 市 市以外→							
事業の実施方法	○ 直営 指定管理 業務委託 ○ 団体等補助 その他→							

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	畜産農家(肉用牛・乳用牛・豚・鶏)	受益者数	270 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	・家畜伝染病の侵入防止、発生時の伝染病拡散防止、各種疾病の発生予防により安全な畜産物の生産と畜産農家の経営安定を図る。		
概要	事業の実施手法、手順	・伝染病調査及び発生予防。法定家畜伝染病予防接種に対する補助。畜産環境保全の推進。BSE対策として牛頭部焼却に対する補助。		
概要	事業始期・終期	始期	年度から	終期
概要	事業始期・終期		年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 ・畜産農家における自衛防疫の強化。			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	総合計画計画額(当初)	15,000	15,000	13,208	13,200	13,200	
	総合計画計画額(計画額)	15,000	15,000	13,208	13,200	13,200	
	事業費	13,808	13,408	13,208			
	(計画・予算・見込・決算額)	12,261	12,540				
	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
受益者負担	予算額						
	決算・見込						
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	1,258	1,258	1,537			
	決算・見込	2,217	2,529				
	予算額	12,550	12,150	11,671			
	決算・見込	10,044	10,011				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%				
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	127	130		
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	381	390		
コスト	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人				
コスト	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人				

【成果面】

活動指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	資料・出展	算出式	単位	件
成果指標	成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)	指標名	法定家畜伝染病発生件数	資料・出展	算出式	発生件数

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	・BSE発生以来義務付けられている、頭部等の焼却についてはミート出荷牛全頭が実施されており、安全・安心な畜産物の供給がなされている。 ・家畜伝染病は、消毒予防や予防注射等組織的な防疫体制により未然に防止された。 ・宮崎で発生した口蹄疫問題についても、市内全域の消毒薬配布等迅速な対応が出来た。	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	(判定理由)	決められた経費の中で、防疫体制強化や、BSE関連の事業が行えた。	減少 維持 1 増加	③成果面 拡大 維持 減少 0
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	(判定理由)	・家畜伝染病に対し、今以上の防疫体制の強化が必要である。 ・安全・安心な畜産物供給のために、BSE全頭検査や頭部等焼却は必要である。	拡大 1 維持 減少	コスト・成果ポジション B 第2水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	家畜伝染病の発生は、宮崎で発生した口蹄疫問題等突発的な発生と畜産経営に壊滅的な被害の発生が懸念されるため、消毒薬等の備蓄が必要と思われる。
------------------------------	---

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 ■ 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了
活動の方針	次年度の実施方針 家畜伝染病に対する、防疫体制の強化。
総合評価	「II」以上の水準に向けた改善が必要 高山市における口蹄疫対応マニュアルを早期に策定するとともに、必要な備蓄品については計画的に購入する必要がある。 また、家畜診療業務については、民間委託も視野に入れるとともに、一層の防疫体制の強化を図る必要がある。